

お菓子の大舞踏会

夢野久作

青空文庫

五郎君はお菓子が好きでしようがありませんでした。御飯も何
もたべずにお菓子ばかりたべているので、お父様やお母様は大層
心配をして、どうかしてお菓子を食べさせぬようにしたいとい
うので、ある日、家中^{うち}にお菓子を一つも無いようにして、砂糖まで
もどこかへ隠して、いくら五郎さんが泣いてもお菓子を遣らない
事にしました。

五郎さんは死ぬ程泣いてお菓子を欲しがりましたが、お父様も
お母様も只お叱りになるばかり……とうとう五郎さんはすっかり
怒って、御飯もたべずに寝てしまいました。

翌る日、学校はお休みでしたが、五郎さんは矢張り怒って、朝

御飯になつても起きずに寝ておりました。

お父様もお母様も懲こころしめのためにならぬと御飯を片づけてしまつて、お父様はどこかへ御用足しにお出かけになり、お母さんも一寸買物にお出かけになりました。

あとにたった一人、五郎さんは、

「ああお腹が空すいた。お菓子が欲しいなあ」

と思ひながら、涙をこぼしてジツと寝ておりました。

すると玄関の方で、

「郵便……」

と大きな声がして、何かドタリと投げ出される音がしました。

五郎さんは思はず大きな声で、

「ハイ」

と言つて飛び起きて駈け出しますと、それは四角い油紙で、何だかお菓子箱のようです。しかもその表には「五郎殿へ」と書いて、裏には兄さん夫婦の名前が書いてありました。

五郎さんは夢中になつてすずりばこ硯箱ひきだしの抽出いんから印を出して、郵便屋さんに押ししてもらつて、小包を受け取りました。鼻を当て嗅いでみると、中から甘い甘いにおいがしました。

五郎さんはもう夢中になつて、鋏を持って来て小包を切り開いて見ると、それは思った通りお菓子で、しかも西洋のでした。：
：ドロップ、ミンツ、キャラメル、チョコレート、ウエファース、ワツフル、ドーナツ、スポンジ、ローリング、ボンボン、そのほ

かいろいろ、ある事ある事……。

それから食べたにもたべたにも、一箱ペロリと食べてしまった五郎さんは、空箱と包み紙や紐を裏の掃きだめに棄てに行つて、帰りがけに台所へ行つてお茶をガブガブ飲むと、そのまま何喰わぬ顔で蒲団にもぐり込んでしまいました。

「アラ、五郎さんはまだ寝ているよ。何て強情な児でしょう。よしよし、今にきつとお腹が空いておきて来るだろうから」

とお母様は独り言を云つて、台所の方へお出でになりました。五郎さんは可笑しく堪らず、蒲団の中でクスクス笑いましたが、そのうちにうとうと睡つてしまいました。

するとやがて何だか恐ろしく苦しくなつて来ましたので、どう

したのかと眼を開いて見ますと、いつ日が暮れたのか、あたりは真暗になっていて何も見えません。その中に最前喰べたお菓子連中が、めいめい赤や青や紫や黄色や又は金銀の着物を着て、男や女の役者姿になって大勢居いなら並んでるのがはつきりと見えました。「こんなに大勢、一時にお菓子たちがお腹なかの中で揃った事は無いわねえ」

とお嬢さん姿のキャラメルが云いました。

「そうだ、そうだ。それに五郎さんの胃袋は大変に大きいから愉快だ」

と道化役者のドロップが云いました。黒ん坊のチョコレートは立ち上って、

「一つお祝いにダンスをやろうではないか」

と云うと、ウエファース嬢が、

「それがいい、それがいい」

「万歳万歳、賛成賛成」

と皆が総立ちになって手を挙げました。すると忽ち^{たちま}五郎さんのお腹がキリキリと痛くなりましたので、思わず、

「苦しい苦しい」

と叫びました。

「あれ、苦しいと言っててよ」

とドロップ嬢が心配そうに云いますと、兎の姿をしたワツフルが笑って、

「アハハハハ、自分が悪いのだから仕方がない。まあ暫く辛抱してもらおうさ。さあさあ、踊ったり踊ったり」

と云ううちに、もう踊り初めました。

ボンボンが太鼓をたたく。ローリングがピアノを弾く。ウエフアース嬢が歌い出す。それにつれて五色の着物を着た小人のミンツ達を先に立てて、キヤラメル嬢をまん中にワツフルの兎、ドロップの道化役者、チヨコレートの黒ん坊、ドーナツの大男、そのほかいろいろのお菓子達が行列を立てて行くあとから、スポンジ嬢が手てつづみ鼓をたたきながらついて行きます。

こうして沢山のお菓子たちがみんな一所に輪を作ると、一二三というかけ声ともろ共に一時に踊り出しました。

「プーカプーカ、チョコレート

プーカプーカ、ローリング

ミンツ、ワツフル、キャラメル、ウエファース

ドーナツ、スポンジ、ボンボンボン

太鼓の響はボンボンボン

ピアノのひびきがローリング

ウエファースと歌い出す

ドロップドロップ踊り出す

ワツフルワツフルはやし立て

キャラメルキャラメル笑い出す

足どりおかしくチョコレート

スポンジスポンジ飛び上る

そこで五郎さんのポンポンが

ミンツミンツ痛み出す」

五郎さんはもう死ぬ位苦しくなつて、

「苦しい苦しい、堪かん忍にんして頂戴。助けて助けて、お父様！ お

母様」

と叫びました。

「まあ、どうしたの五郎さん。大層うなされて」

とお母さんにゆり起されて、五郎さんはフツと眼を開くと、ま
だおひる過ぎでうちの中はあかるいのです。

「お母さん、僕のお腹の中でお菓子が踊っている。ああ、苦しい。堪忍して頂戴、もう決してお菓子を食べませんから。ア、イタイ、イタイ。お母さん、助けて助けて」

と、五郎さんは汗をビツシヨリ掻いて、のた打ちまわりました。お母様は驚いて、お医者を呼びにお出でになりましたが、いろいろわけを尋ねて、やっとお菓子の喰べすぎだという事がわかりますと、お医者はこのわい顔をして、

「これから決してお菓子を喰べてはいけませんよ」

と云つて、苦い苦いお薬を置いておいでになりました。

それから五郎さんは、病気が治つてからも決してお菓子を欲しがりませんでした。

青空文庫情報

底本：「夢野久作全集」ちくま文庫、筑摩書房

1992（平成4）年5月22日第1刷発行

※底本の解題によれば、初出時の署名は「海若藍平《かいじやくらんぺい》」です。

入力：柴田卓治

校正：もりみつじゅんじ

2000年3月6日公開

2006年5月3日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

お菓子の大舞踏会

夢野久作

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>